

職員リレー紹介



中国重慶市出身です。重慶市の面積は北海道より広く、名産は重慶火鍋、ザーサイなどで、中国十大風景名所の1つ長江三峡があります。日本に来て12年、日本で資格を取り介護福祉士の仕事も12年目になりました。木島病院に入社して2年になり、中国語通訳も担当しています。仕事、言葉などいつも先輩たちにお世話になっています。おおざっぱで明るい性格で、辛いものが大好きです。

好みの同じ方や、中国に興味のある方は遠慮なく声をかけて下さいね。

接骨院紹介

なるわ接骨院 小俣 祐一

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1-45
TEL.076-201-8286

みなさん こんにちは！柔道整復師の小俣です。私は木島病院に平成10年から5年間勤務させて頂きました。平成19年11月に金沢市神宮寺町で「なるわ接骨院」を開業し、おかげさまで6年目を迎えることができました。

当院は土・日・祝日も診療を行っており、平日仕事で時間がなく通院できない方や部活動等の練習で遅くなり治療できないと言った方々が休みの日に来院されております。

木島病院でのたくさんの思い出は今でも忘れる事はなく、病院で学んだ知識や経験により今の自分があると思ひ深く感謝しています。

今後も地域の皆様に信頼して頂けるよう初心忘れず頑張っていきたいと思ひます。

時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:30		○	○	○	×	○	○	○
午後 15:00~20:00		○	○	○	×	○	○	○

※休診日/木曜日、第3日曜(土・日・祝日は午後18時まで)



ちょっこしい話

木島病院報

Vol. 71

平成25年1月4日発行
発行：木島病院新聞委員会

2013年リハビリの質の向上を目指して

木島病院 院長 竹内 尚人



新年明けましておめでとうございます。

昨年末の総選挙では自民党が大勝しましたが、新しい内閣のもと、今年の日本はどうなっていくのでしょうか。混沌とした時代が続くのでしょうか。また中国・韓国との領土問題はどのようになるのでしょうか。両国にやられてばかりで、平和憲法のもとまだまだ耐え忍ばなくては行けないのでしょうか。耐え忍んで何とかかなるような両国にはみえないのですが…

さてそんな中、木島病院は今年4月にはリハビリの増築棟が完成し、5月には既存部分の改修(リハビリ部門の拡充・食堂の改修・手術室前室の拡充など)も終了する予定です。これにより今まで待ち時間の長かったリハビリがスムーズになり、広い体育館のような場所でスポーツ復帰を目指した、より実践的なリハビリも行えるようになります。また増築棟では災害時に避難所としても機能できるように、非常用電源や食料等の備蓄のための倉庫も備えて、万が一に対応したいと考えています。平時にはもちろん災害時にも地域のみなさまに貢献し、信頼される病院を目指します。

リハビリに関してはただ単に広くするだけでなく、柔道整復師・理学療法士・作業療法士を10名(全員が国家試験合格したら)採用することになっています。人材と言うのは急に育つものではないので、新人が戦力として働けるのは2~3年先でしょうが、大事に育ててリハビリの質の向上につなげていきたいと考えています。また経験・実力の備わったリハビリスタッフで希望する人には、北國銀行ハンドボール部をはじめとしていろいろなスポーツチームのサポートに当たってもらいます。これもスポーツ医学の実践という面からの地域貢献ととらえています。スポーツ現場での経験は病院の中でのリハビリにも役立つことが多いと思います。当院は整形外科を主とした病院ですので、手術だけでなくリハビリは非常に大事な部門です。「元気になるための病院」という理念にかなうようにリハビリの質の向上をいろんな面から進めていきます。

今年も「地域のみなさんに信頼され、親しまれる病院」目指して職員一同奮起しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

明けましておめでとうございます。平成25年が始まりましたね。寒い日が続くからといって、こたつの中にこもってばかりいませんか？ 体を動かし健康的な体づくりを心がけましょう。では次回の「ちょっこしい話 Vol.72号」もお楽しみに！

新聞委員一同

木島病院

TEL (076) 237-9200
FAX (076) 237-9202

きじま在宅介護センター

TEL (076) 237-7111
FAX (076) 237-1199

健康増進施設
スポーツリハビリ きじま

TEL (076) 237-9200
FAX (076) 237-9202

〒920-0011 石川県金沢市松寺町子41番地1

病院ホームページアドレス <http://www.kijima-hp.or.jp/>



2013年目標



木島病院 事務長

新年あけましておめでとうございます。
受付事務スタッフの目標は天まで高くめざします!!
【おもいやり】のある言葉づかい・・・
【おもいやり】のある行動・・・
優しさも厳しさもある ☆☆ おもいやりのところ ☆☆を育てます!!
いたい・つらい・くるしい・・・ことを少しでもわかってもらう
【心】が育つよう頑張ります!!



看護師長

明けましておめでとうございます。
看護部では
・各々が高い目標を持つ
・他部署とのチーム医療を大切にする
・患者さまと共に元気になる
を目標に安全・安心で信頼できる質の高い医療を提供します。



リハビリテーション科

新年明けましておめでとうございます。
リハビリテーション科の目標は「何事においても相手の立場に立ち考え、思い遣りの心を持ち続ける」です。この目標には3つの思いを込めています。
まず「思いを遣る」送り先を知る為に「相手の立場に立ち考える」。次に「思い遣りの心を持つ」。そして最後に「継続する」。何事も継続が大切です。しかし最も難しいことも継続だと思います。
皆様も自己決定したことを継続し、一緒に実りある一年にしていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします!



きじま在宅介護センター

元気になるセンターを目指し
「初心に帰り、利用者様の目線で利用者様中心に物事を考えよう」
を平成25年のスローガンとして、利用者様目線でのリハビリ技術の向上、又常に問題意識を持ち、不具合の所は従来のことにとらわれず積極的に改善し、利用者様並びに職員が楽しくリハビリが出来るよう一丸となり努力いたします。



スポーツリハビリきじま

昨年も多くの方に利用していただきありがとうございます。2012年は会員のみならずのおかけでジムの中が、とても明るく楽しい雰囲気運営することができました。感謝しております。
最近「無事これ名馬」ということばがとても気に入っています。解釈は人それぞれでしょうが、健康づくりをお手伝いしているものとして「健康が一番」と言っているように思えてなりません。以前より知っていたことばですがみなさんと接しているうちに、私の中ではとても大切なことばになってきました。春からジムも移動し、スペースも少し広がる予定です。
新しい施設でもこれまで同様、心とカラダの健康をキーワードにスタッフ一同健康づくりのお手伝いをしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

感染症のおはなし

寒い日が続きますが皆様、カゼなどひいていませんか?
今回のテーマは感染症です。感染症ってなにやら重い病気、悪い伝染病、とか自分には関係のない「特別な疾患」というイメージをお持ちの方も多いのではないでしょうか。
じつは感染症とは風邪、インフルエンザ、食中毒、水虫など日常最もありふれた疾患です。

1. 感染症とは?
「感染」 → 病原体が体中に侵入すること
「感染症」 → 病原体(微生物)の感染によっておきる病気
 また病原体が侵入しても症状がでなければ「不顕性感染」といい感染症とはいいません。

2. 微生物とは?
「微生物」 → 肉眼では観察できない微小な生物の総称
「病原体」 → 体中に侵入して感染症をおこす微生物

代表的な微生物としてインフルエンザウイルス、大腸菌、溶連菌、肺炎球菌、マイコプラズマ、ノロウイルス、水虫を起こすカビ(真菌)、結核菌等があります。
これらの微生物はウイルスやマイコプラズマは電子顕微鏡でしか見えませんが、細菌や真菌も光学顕微鏡で見えます。

3. どこから侵入するの?
 ①皮膚から …昆虫や動物にかまれて、あるいは皮膚の傷口
 ②粘膜から …咽頭、胃腸、喉頭、鼻、気管支、肺、尿道、膀胱、膣、眼
 ③母子胎盤から

4. どのようにして侵入するのか? …咳、くしゃみ、便(汚染された手)→口、性的接触、動物や昆虫から

5. もう少し医学的にいうと… …侵入経路⇒感染経路といえます

	感染媒体	主な疾患
①接触感染	直接的(皮膚と皮膚)、間接的(器具、環境)に接触	MRSA感染症、食中毒(O157)、ノロウイルス、肝炎ウイルス、赤痢
②飛沫感染	咳くしゃみで微粒子(5μm以上)が約1m飛沫し床に落下	インフルエンザ、インフルエンザ菌、マイコプラズマ、百日咳、溶連菌感染症、おたふくかぜ
③空気感染	微粒子(5μm以下)が長時間浮遊し空気の流れにより拡散	結核、麻疹、水痘
④一般担体感染	汚染された食器、薬剤、器具による微生物の伝播	食中毒、汚染された針使用による肝炎
⑤昆虫動物媒介	蚊、ハエ、鼠などの害虫、動物	マラリア、発疹チフス

6. 感染症の成立 …加齢、基礎疾患、抗ガン剤やステロイド剤の服用により私たちの免疫力(抵抗力)が低下している時に十分な数の微生物が侵入したときに発症しやすくなります。

7. まとめ …微生物は健康な皮膚、粘膜、消化管に存在し人間との間でバランスを保っている。
このバランスが崩れて、微生物が増殖を続け、人体に影響を及ぼすようになった状態を「感染症」といいます。

8. 感染症の予防
手洗い …最も簡便、最も効果的、最も経済的、な感染防止対策です。
予防ワクチン …インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、麻疹ワクチン、水痘ワクチン、ムンプス(おたふくかぜ)ワクチン、ヒトパピローマウイルスワクチン(子宮頸がん予防)、B型肝炎ウイルスワクチンその他様々あります。
免疫力を高める …十分な睡眠、栄養をとり規則正しい生活を疲れをためないようにしましょう。

この新聞の読者の皆様は免疫力を十分に高め、必要なワクチンを接種し感染症に罹らない寒さを乗り切りましょう。

雪道の歩き方

木島病院 転倒・転落予防委員会より

①小さな歩幅で歩く

歩幅が大きいと足を高く上げなければなりません。そうすると当然、重心移動（体の揺れ）が大きくなり、転倒しやすくなります。滑りやすい所では、基本的に小さな歩幅で歩きましょう。



②靴の裏全体をつけて歩く

雪道を歩く時は、重心を前におき、出来るだけ足の裏全体を路面につけるように歩きましょう。道路の表面が氷状の「つるつる路面」では小さな歩幅で、足の裏全体をつけて歩く「すり足」のような歩き方が有効です。※完全に地面を擦りながら歩くとつまづきの原因にもなるので、軽く足を浮かせて歩きましょう。



③急がず焦らず余裕を持って歩く

いくら歩き方を理解しても、急いでいる時は忘れがちになります。冬は移動に時間がかかるとして「余裕を持って」行動し、「急がず、焦らず」に歩く事が大事です。「余裕を持って歩く」事で、しっかりと「滑りそうな道」を見分けながら歩く事が出来ます。転倒しない為には非常に重要です。



「医療ソーシャルワーカー」ご存知ですか？

医療ソーシャルワーカーについて聞いたことあるけど、どんな仕事をしているの？と思っているかたが多いのではないのでしょうか。また、相談したいけどどうすればいいのだろうと迷っているかたもおられるかもしれません。

病気や怪我に遭遇すると、ご本人はもとよりご家族も含めてこれからの生活について心配になることもあるかと思えます。例えば、療養における心配事、精神的・心理的な悩み、医療費や経済的な心配、退院後の生活、家族関係や職場復帰の相談、社会保障制度についての相談など、さまざまなことがあります。

このような心配や不安、問題が起きた時、また起きそうな時に、医療ソーシャルワーカーが、患者さんやご家族よりお話を伺い、一緒に考えながら問題の解決のためにお手伝いさせていただきます。

ご相談内容についての秘密は厳守いたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

ご利用方法

相談をご希望の方は、受付またはお近くの職員にお申し出くださるか、直接ご連絡下さい。事前に予約をしていただければ、お待たせすることなく、ゆっくりとお話を伺う事ができます。

受付時間 月～金 9:00～12:00 14:00～17:00
土 9:00～12:00

お問い合わせ 木島病院 医療福祉相談室
医療ソーシャルワーカー 松本 純子(社会福祉士・精神保健福祉士)
TEL076-237-9265(医療福祉相談室直通) TEL076-237-9200(代表) FAX076-237-9202

相談
無料



地域交流会だより

秋深まる折、10月27日(土)きじま在宅介護センターで第22回地域交流会を開催しました。内容は、骨折をテーマにした職員の寸劇と竹内院長の講演『大腿骨頸部骨折』、ロコトレの実演でした。聴衆者約60人の皆さんが、寸劇を見て笑い転げて骨折しないかと心配しましたが、院長の講演で再度骨折の治療や予防の知識を深めるひと時でした。

地域交流委員



センターだより



平成24年12月初旬、フラワー教室を開催しました。生花を使って行なうクリスマスリース作りに女性利用者さんも楽しそうに挑戦していらっしゃいました。赤いりんごにかわいいポインセチアの花。制作している利用者さんも目をキラキラさせています。いくつになっても、女性はかわいい物が好きなんだなあ～と見ている私達も目をキラキラさせていました。参加したのは、実は女性だけではなく、男性利用者さんもいたのですよ。なんと！奥様へのクリスマスプレゼントだったようです。いつまでも仲の良い夫婦愛に心が温まりました。

大好評だったフラワー教室。今後も素敵な教室の企画を考えていきたいと思っております。



きじま在宅介護センター